

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日：令和4年12月 1日

事業所名：放課後等デイサービスみつぼ サービス種類：(例：児童発達支援・放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・療育を行うには十分なスペースはあると思う。	・はい 13名 ・いいえ 0名 ・どちらともいえない 4名 ・わからない 1名	・子どもたちの成長と共に狭く感じる事があるがなるべく物を置かないようにする。
	2 職員の適切な配置	・出来ている。 ・人数に応じて職員の配置はしている。	・はい 13名 ・いいえ 0名 ・どちらともいえない 2名 ・わからない 3名	・引き続き継続して行う。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・各部屋に絵、文字を入れてわかるようにネームプレートを貼っている。	・はい 15名 ・いいえ 1名 ・どちらともいえない 1名 ・わからない 1名	・今の状況ではトイレを増築するのは難しい状況です。 ・細かい所は使いやすいように工夫して改善していきたいと思います。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・子どもたちと一緒に清掃、消毒は行っています ・子どもたちが常に自分のスペースを持てるようにしている。	・はい 17名 ・わからない 1名	・引き続き継続して行う。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・個別支援計画をもとに職員がPDCAサイクルに沿って療育を行っている。		・毎月の職員研修で意見を言い合っている。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・様々な来訪者に見てもらい高評価をいただいている。		・引き続き継続して行う。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・コロナの影響により外部研修は控えていたがリモート研修をに参加している。 ・事業所内研修は毎月行っている。		・コロナの様子をみて外部研修も参加させていこうとおもう。 ・事業所内研修は引き続き行う。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・最初にとった計画をもとにアセスメントを行い分析をし保護者や利用児童に合わせた個別支援計画を作成している	・はい 18名	・引き続き継続して行う。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・子どもの状況に合わせてできることを伸ばし、できないところは工夫を加え継続して行える計画を立てている	評価項目なし	・引き続き継続して行う。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・利用児童一人ひとりに沿った必要な支援内容になっている	はい 18名	・引き続き継続して行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・職員が計画に沿って同じ内容で支援を行っている。	・はい 18名	・引き続き継続して行う。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・個々の特性に応じたプログラムを職員MT等で立案している。	・評価項目なし	・プログラムを解析して目標達成に務める。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・平日は一人ひとりの時間が短い中で課題等に 必要な訓練を行っている。 ・休日、長期休暇においては個別と集団訓練及び課題等に取り組んでいる。	・評価項目なし	・引き続き継続して行う。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・毎月、職員全体ミーティングで意見等出し合い話し合いをしている。	・はい 17名 ・どちらともいえない 1名	・子どもの状況に応じて新しい取り組みも入れていくように職員ミーティングで話し合いをする。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・日々常に行っている。		・引き続き継続して行う。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・基本当日に行うが、場合によっては翌日行うようにする。		・殆どが支援終了後、営業時間終了になる為、詳しい情報や振り返りは翌日行う。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・記録の記載漏れがないかなど確認を行い検証改善は継続して実施している。		・記録は徹底している。 ・検証して実行に移していく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・モニタリングを行い個別支援計画の見直しを行っている。		・引き続き継続して行う。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・コロナの状況をみながら、支援会議等は必要に応じて行っている。 ・専門支援員とは連絡、情報交換は行っている。		・コロナの動きをみながら検討して行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・対象事業所ではない。		・対象事業所ではない。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・対象事業所ではない。		・対象事業所ではない。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で の支援内容等の十分な情報共有	・殆どの学校とは情報提供はできている。 ・送迎時において担任の先生の先生や支援員の先生に話をしている。		・認定こども園、支援学校、小学校等にも声掛けをおこない連携を図る。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等 についての十分な情報提供	・障害福祉サービス事業所等との情報交換は行っている。		・引き続き継続して行う。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・保育所等訪問の先生とは連携はとれているが コロナの時期により研修等はしていない。		・コロナの様子をみて研修等があれば参加もしくは声掛け等行う。
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・コロナの影響により地域及び他事業所での活動は自粛している。 ・近くの公園での活動では地域児童の子どもたちも一緒に参加している。	・はい 4名 ・いいえ 3名 ・どちらともいえない 3名 ・わからない 8名	・コロナの様子をみて落ち着いたら声掛けをして検討する。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・コロナの影響もあり地域住民への声掛けを自粛している。 ・今年11月に親子行事を実施している。	・評価項目なし	・行事の立案をしましたがコロナの時期により地域住民に迷惑をかけないように自粛している。 ・コロナの様子をみて落ち着いた頃に検討する。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約時に説明を行っている。	・はい 18名	・継続して行う。(電話対応も行っている)
2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・新規、見直し等支援計画に変更等があった場合に必ず説明を行っている。	・はい 18名	・引き続き継続して行う。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・ペアレント・トレーニングの支援は行っている。	・はい 7名 ・どちらでもない 3名 ・いいえ 3名 ・わからない 8名	・継続して支援を行う。 ・保護者会などを活用し周知していく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・送迎時で口頭で伝えている。 ・又は、電話等でお伝えすることもある。	・はい 18名	・引き続き継続して行う。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・送迎時及び家庭訪問や事業所内にて課題に取り組んでいる。	・評価項目なし	・継続して行う。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・コロナの様子をみて保護者会は年2回実施している。	・はい 12名 ・どちらともいえない 4名 ・いいえ 1名 ・わからない 1名	・父母会の活動は参加支援を行います。 ・保護者会は継続して行う。 ・保護者同士の支援に関しては今後検討する。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・迅速に行っているが、適切な対応がとれていないこともある。	・はい 17名 ・わからない 1名	・管理者として保護者に嫌な発言や、行動をしている事もしばしあると思うので、今後、丁寧に対応させていただきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・チェック表を作成したり、イラストを使って解りやすくしている。 ・保護者への書類関係は直接渡す様にしている。	・はい 18名	・引き続き継続して行う。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・事業所新聞は毎月発行してゐる。 ・連絡体制に関しては、保護者あてに書類を作成し直接手渡しをしている。	・はい 18名	・事業所新聞は継続して行う。 ・内容によっては見えにくい所もあると思うので、今後、検討していく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・全職員に責任を持たせ徹底している。	・はい 17名 ・わからない 1名	・今後も徹底して行う。
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・職員研修を毎月行っている。 ・玄関にいつでも閲覧できるように掲示している。	・はい 15 ・わからない 3名	・職員研修は毎月継続して行う。 ・今後は各マニュアル等を分かり易く策定し職員と保護者に周知できるように整備する。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・定期的に行っている。(地震、火災、津波)	・はい 15名 ・どちらともいえない 1名 ・わからない 2名	・定期的に様々な避難訓練を実施しているが、保護者にも実施した内容を伝えていくようにする。 ・事業所新聞にも記載しているが、今後は分かり易いように記載していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・年に1回ずつ合同と単体で行っている。		・虐待研修一部資料を玄関掲示板にはりだす。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・対象児童がいないため記載なし ・やむを得ず拘束を行う場合子どもや保護者に説明し支援計画に記載する。		・今のところ対象児童がいないため今のまま継続 ・今後、対象児童がいる場合保護者に説明し了承 いただき個別支援計画に記載する。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・アレルギー性はあるものの医師の指示にまで至らない。 ・アレルギーを持つ児童には配慮し成分を見て提供している。		・苦手なもの等があった時に、アレルギー性があるか保護者に確認する。 ・その場合、医師の診断があるか確認する。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハットを集めて大きな事故につながらない ように知さなことも拾いみんなて共有している。		・ヒヤリハットを集めて大きな事故につながらないように知さなことも拾いみんなて共有している。